



# たかなし

校訓「尚志」「知新」

第49号 令和4年7月27日



## 「秋の俳句」大会

今回は、3年生以上の児童から191展の作品応募がありました。複数の作品を応募してくれる児童がたくさんいて、発案者の櫻田教頭先生もとても喜んでます。「冬の俳句」も実施予定でいます。感性を高めて「冬の俳句」にもたくさん応募してくれるとうれしいです。最優秀賞、優秀賞、優良賞の作品を紹介します。なお、選者は小田嶋〇〇さん、藤井〇〇さんです。ありがとうございました。

### ○最優秀賞 ※ペンネーム等の児童もおります

- 秋の葉で 工作作り みんなでね 門脇〇〇〇(3松)
- 秋が来た 色とりどりの 落ち葉だな 千葉〇〇(4松)
- 中庭に ひっそりと咲く ツリガネソウ 佐々木 〇(5松)

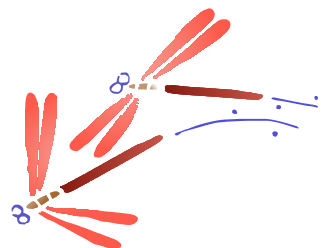
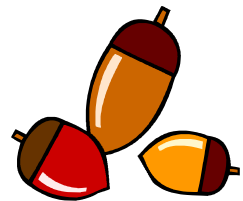
### ○優秀賞

- 秋にはね たくさんいろが そまってる 竹内〇〇〇(3松)
- あきはくり りすはかけっこ たのしいぞ 佐々木 〇(3松)
- あきのかぜ 落ち葉とともに 流れる葉 門脇〇〇〇(3松)
- 鮎川に 鮎が登って 秋が来た 森元〇〇〇〇〇(4松)
- 紅葉の 夕暮れ時は 絶景だ 柴田 〇〇(5松)
- 望月や 心が安らぐ 静かな夜 佐々木 〇(5松)
- 朝焼けや 水面に浮かぶ 落ち葉かな 安藤〇〇(6竹)

### ○優良賞

- くりひろい やいてほくほく おいしいな 高橋〇〇〇(3松)
- ドングリを 拾い集めて ポケットに 齋藤〇〇(3松)
- アキアカネ 楽しい俳句 楽しいな 鈴木〇〇〇(3松)
- 秋の夜、早寝早起き、楽しいな 中村〇〇(3松)
- 秋になり、きれいなおちば、いっぱいだ。 さいとう〇〇〇(3松)
- 秋休み、もみじまんじゅう、食べたいな！ 新山〇〇(3松)
- 秋の虫 いっぱいにとって 満足だ 篠村〇〇(3松)
- 秋の夜、フカフカふとん、きもちいな 中村〇〇(3松)
- あきがきて やさいいっぱい とれるよね 高橋はし〇〇〇(3松)
- 秋になり 桜の木の葉も 茶色だね 石川〇〇(4松)
- 秋が来て 枯葉が落ちて 静かな木 松本〇〇〇(4松)

祝 ○第85回秋田県書道展覧会  
小学校6年半紙 1等  
熊谷〇〇、茂木〇〇(6松)  
○人権標語コンテスト  
大曲人権擁護委員協議会長賞  
鈴木〇〇〇(6松)  
「みんなの輪 だれでも入れる  
輪にしよう」



裏に続きます

- 寒い秋 鍋を使って あったまる 新田〇〇(5松)  
□山奥で 鈴虫たちが 大合唱 佐々木 〇(5松)  
□秋になり もみじが咲いて 散っていく 藤田〇〇(6竹)  
□新涼の 外は一面 黄金色 田村 〇〇(6竹)



## 俳句の魅力

5・7・5でまとめて季語も入れなくちゃならないし、なんだか難しそうです。しかし、その短い文の中で言葉を選んで書くのが俳句の大きな魅力です。短い言葉で句を伝えようとしますから、文がとても洗練されたものになります。時には美しい絵画などを見た時のような感動さえ覚えます。

### 毎日が新鮮になり楽しくなる

俳句を学ぶと季語についても当然学ぶようになります。季語は、家の中、外出先など至るところにあるのです。例えば、野菜のトマト、ナス、キャベツなどなど・・・これらはみんな季語なのです。俳句を学ぶと毎日ちょっと億劫だった仕事や家事も楽しくなります。この野菜で作れるのはどんな句？なんて思ったりするのです。毎日が楽しくなるのも俳句の魅力の一つです。

### チャレンジが人生に張り合いに

俳句は趣味にしている人が多いので、最近ではネットや雑誌など至る所で作品を投稿できるチャンスがあります。良い作品ができたなら気軽に実力試し、目指すは入選！目標ができて、人生が張り合いのあるものになるのです。

以上 趣味のサーチより